

第1007回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年7月30日（水）午後3時00分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 清川委員 小泉委員 西野委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
宮前企画参事 北川参事（人事給与） 坂本スポーツ保健課長補佐
小和田教育研究所長

4 議 題

日程第1 第20号議案 福井県公立学校教員採用選考試験第1次選考可否の
決定について

5 審議事項

（1）開会宣告 午後3時00分

（2）会議録署名人の指名 西野委員 吉井委員

（3）議事要録

委員長 本日の日程第1、第20号議案および報告事項の1について非公開とい
たしたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

委員長 日程第1、第20号議案を議題

企画幹（高校改革）、参事（人事給与） 資料に基づき説明

清川委員 高校工業と高校商業は受験者数が少ない。昨年度も少なかったようであ
るが、何か取組みを進めなければ、状況は変わらないのではないか。

参事（人事給与） 秋以降、専門学科の学生に対して積極的に受験してもらうよう、活動
を行う予定である。

企画幹（学校教育） 民間企業の採用状況がよい影響もあると思う。また、工業の免許が
取得できる学科は、工業系に限られているという事情もある。

委員長 第20号議案について、原案に対する異議の有無を確認

◎協議・報告事項

協議事項

(1)「命の教育」について

委員長 先日の他県での事件は、特異なケースであろうか。

教育長 学校、地域、家庭などで、命の大切さについて、あらためて考えていく必要がある。

吉井委員 継続して観察や指導を行う体制を取るという予防措置が必要だったのではないか。

(2)「福井県保幼少接続カリキュラム（試行版）」の策定について

小泉委員 このような取組みは、非常に画期的である。本県では、保育園に通う子どもの方が圧倒的に多いが、子どもたちにとっては、幼稚園であろうが保育園であろうが関係がない。小学校の先生と幼稚園、保育園の先生が三位一体となって取り組むことは、県がリードしなければ、市町ではなかなか進まないのでは、どんどん進めてほしい。

西野委員 同じ5歳児であっても、状況は様々である。現場だけでは難しいことも多いため、このように統一的なノウハウを示し、格差がないようにしていけば、その先にうまくつながっていくと思う。

(3) 特別支援学校等における就労支援について

清川委員 ジョブコーチは、必ず実習に同行するのか。

高校教育課長 基本的には同行するが、ある程度手が離れれば、同行せずに学校で実習の報告を聞くような形になる。

(4) 家庭教育相談・応援サイトの開設について

西野委員 検索サイトの相談コーナーは、アクセス数が非常に多いが、それに匹敵するぐらい充実している。

(5) 教職員を対象とした「通信型研修」の実施について

報告事項

(1) 学校における「原子力災害時避難計画」の作成について

委員長 本日の会議の終了を宣告